

第 41 回臨床神経病理懇話会

2013 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）

会場：愛知医科大学 2 号館（研究棟）1F 組織実習室（106 教室）
C 病棟 2F C202 講義室・C203 講義室

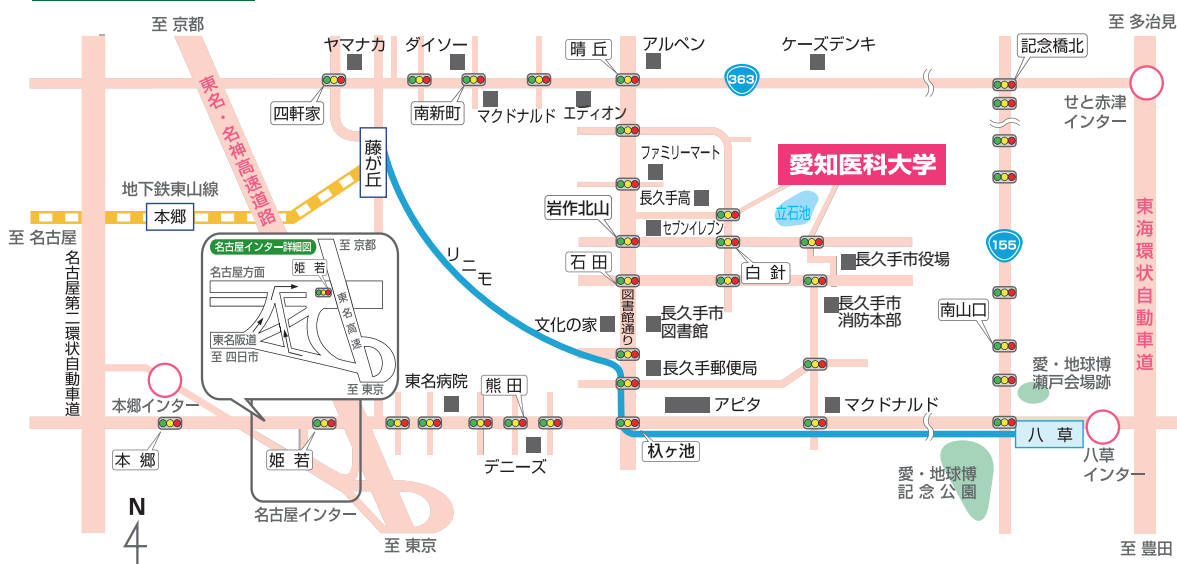
世話人：愛知医科大学 加齢医科学研究所 吉田 眞理

事務局：〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1-1
愛知医科大学 加齢医科学研究所
TEL 0561-62-3311 FAX 0561-63-3531

会場までのアクセス

- ①東名高速自動車道・名古屋インターから車で、約 15 分
- ②名古屋第二環状自動車道。本郷インターから車で、約 15 分
- ③東海環状自動車道・せと赤津インターから車で、約 30 分
- ④お車でお越しの方は、病院駐車場(立駐)をご利用下さい。会場受付にて、無料処理をいたします。

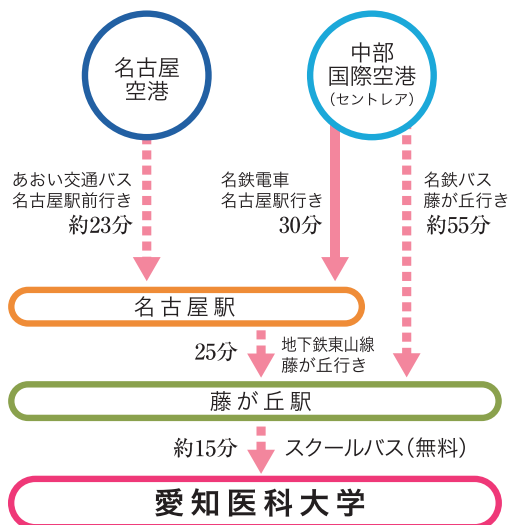
幹線道路から



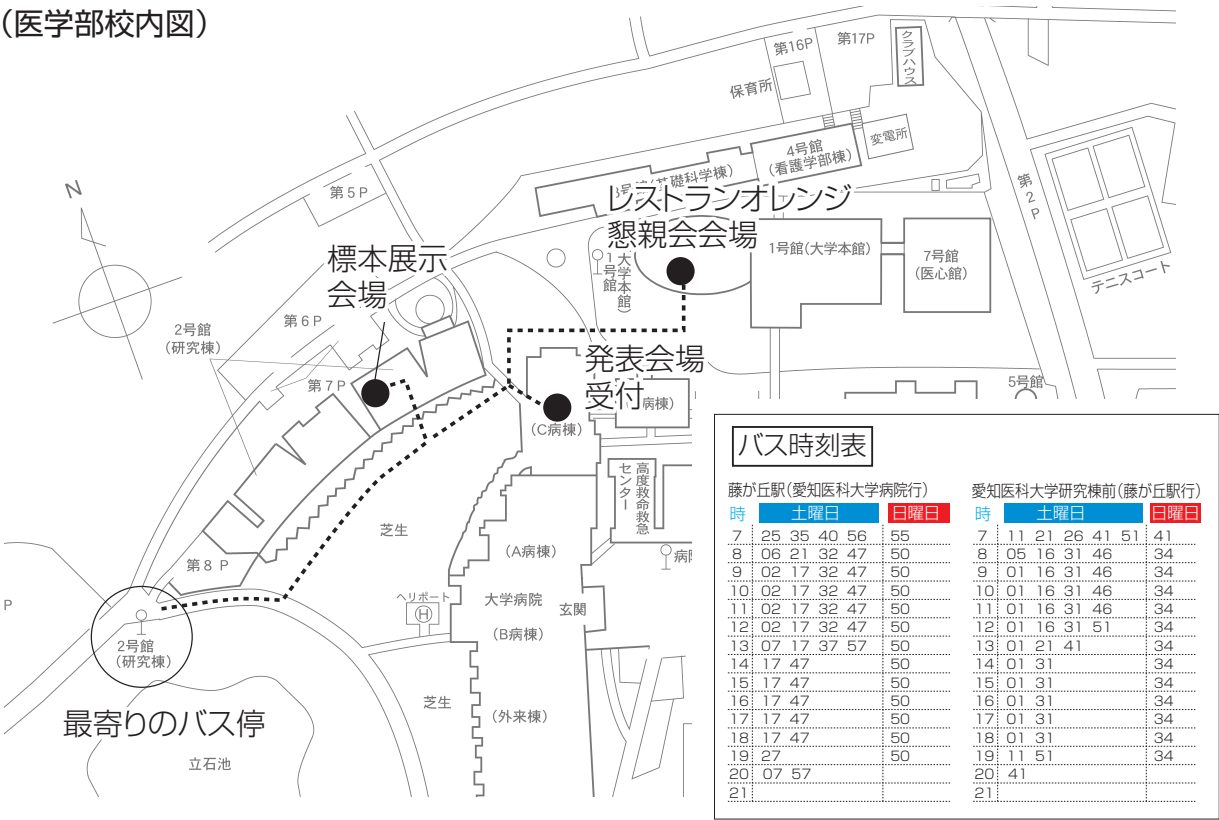
名古屋駅から

- ①名古屋駅から「地下鉄 東山線」で「藤が丘」駅まで、25分
- ②地下鉄東山線「藤が丘」駅からスクールバス(無料)で、約15分
タクシーの場合は、藤が丘から約10分

公共交通機関のご案内



(医学部校内図)



タイムテーブル

1日目 11月16日(土)

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実習室 (研究棟1階106教室)														
C202 講義室 (C病棟2階)														

2日目 11月17日(日)

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実習室 (研究棟1階106教室)														
C202 講義室 (C病棟2階)														

◆演者は発表される症例のプレパラートを11月16日(土)は午前9時30分までに、17(日)は8時30分までに会場受付にお持ちください。演者番号表示のある机上に展示してください。

◆◆発表データ受付◆◆

発表時間は一演題につき 10 分、討論 5 分です。

発表は全て PC を使用した発表になります。PowerPoint で編集して下さい。保存ファイル名は筆頭者名で保存してください（例：愛知 太郎.ppt）

準備の都合上できるだけ早くデータを受付へ提出してください。発表の 1 時間前までには受付を済ませて下さい。受付にて、モニターによる出力確認を行ったうえで、データをコピーさせていただきます。コピーされたデータは終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

Windows の場合は CD-R または USB メモリーのメディアでお持ち下さい。CD-RW は読み込めない可能性がありますので、避けてください。

学会準備の PC の OS は Windows 7 です。パワーポイントのバージョンは 2010 で、ファイルは 2003 以降で対応いたします。動画のある方と Macintosh の場合は必ずご自身の PC をお持ち下さい。

PC 本体をお持ち込みの場合は PC 本体に外部出力（D-sub15 ピン）が使用できることを必ずご確認ください。あわない形状の外部モニター出力端子の場合は、ご自身で変換アダプターをご用意下さい。電源アダプターをお忘れなくご用意下さい

◆受付について

受付場所：愛知医科大学 C 病棟 2 階

11 月 16 日（土）午前 9：00 より

11 月 17 日（日）午前 8：00 より

受付にてネームカードを配布します。各自でご記名のうえ、会場内では必ずご着用ください。

◆参加費について

医 師：4,000 円

技術職：1,000 円

学 生：無 料

◆プログラム抄録集について

当日受付にて一部 1,000 円で販売致します。

◆日本神経学会専門医認定更新単位

当日受付にて専門単位更新手続きを行います。

◆呼び出しについて

会場内の呼び出しについては原則行いませんのでご了承ください。緊急の場合は受付にお申し出ください。会場進行係より適宜対応いたします。

◆携帯電話に対するお願い

会場内では電源を OFF にするか、マナーモードに切り替え、通話は会場の外でお願いします。

◆禁煙のお願い

敷地内全面禁煙です。喫煙はご遠慮ください。

◆クロークについて

受付へお申し出ください。貴重品のお預かりはできません。

◆昼食について

ランチョンセミナーを予定しておりますのでふるってご参加ください。

◆世話人会について

日時：11月17日（日）11：10 ～ 11：50

会場：C病棟 2階 C203 カンファレンスルーム

◆特別講演について

日時：11月16日（土）17：00 ～ 18：15

会場：C病棟 2階 C202 講義室

座長：吉田 眞理（愛知医科大学 加齢医科学研究所）

演者：伊東 秀文 先生（和歌山県立医科大学 神経内科学講座 教授）

タイトル：「ALSにおける遺伝子変異と蛋白異常蓄積の神経病理」

◆ランチョンセミナーについて

ランチョンセミナー①

日時：11月16日（土）12：00 ～ 13：00

会場：C病棟 2階 C202 講義室

座長：岩崎 靖（愛知医科大学 加齢医科学研究所）

演者：内川 治 先生（武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 科学研究所 所長）

タイトル：「自然な眠りを誘う世界発の睡眠薬創製のドラマ」

ランチョンセミナー②

日時：11月17日（日）12：00 ～ 13：00

会場：C病棟 2階 C202 講義室

座長：橋詰 良夫 先生（医療法人さわらび会福祉村病院 神経病理研究所 所長）

演者：新宅 雅幸 先生（大阪赤十字病院 病理診断科 部長）

タイトル：「上衣と脈絡叢の非腫瘍性病変の病理」

◆懇親会について

日時：11月16日（土）18：30 ～

会場：愛知医科大学 レストランオレンジ（大学本館 1階）

会費：2,000 円

懇親会は特別講演終了後行います。ふるってご参加ください。

◆送迎について

16日（土）懇親会終了後、17日（日）閉会挨拶後、大学本館ロータリーに藤が丘駅行き大型タクシーを手配しますので、ご利用ください。

＜プログラム＞

第1日目 : 2013年11月16日(土)

＜標本展示＞	9:30 ～ 17:00	(演題 1～14)
＜ランチョンセミナー1＞	12:00 ～ 13:00	
＜一般演題 1＞	13:05 ～ 16:55	(演題 1～14)
＜特別講演＞	17:05 ～ 18:15	
＜全体懇親会＞	18:30 ～ 20:00	

12:00～13:00 ランチョンセミナー1 共催：武田薬品工業株式会社

座長 岩崎 靖 (愛知医科大学 加齢医科学研究所)

「自然な眠りを誘う世界初の睡眠薬創製のドラマ」

武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 科学研究所 所長

内川 治 先生

13:00～13:05 開会挨拶

愛知医科大学 加齢医科学研究所 吉田 眞理

一般演題 1 (口演)

13:05～13:35 ミエロパチー・脱髄

座長 氏平 伸子 先生 (名古屋掖済会病院 病理診断科)

1. 広範な横断性壊死を示した methotrexate myelopathy の1剖検例

○新宅 雅幸¹⁾、豊岡 奈央²⁾、通堂 満²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理診断科 2) 同 血液内科

2. 脳幹病変の再発を繰り返し、ステロイドパルス定期療法が有効であり、多発性硬化症と考えられた1剖検例

○石田 千穂¹⁾、古川 裕¹⁾、高橋 和也¹⁾、駒井 清暢¹⁾、能登 大介²⁾、
浜口 毅²⁾、山田 正仁²⁾

1) 国立病院機構医王病院 神経内科

2) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (神経内科学)

13:35～14:05

高齢者・AD

座長 石田 千穂 先生（国立病院機構医王病院 神経内科）

3. 日本人史上最長寿で、剖検された世界最高齢の1例

○岩瀬 環¹⁾、水野 友之¹⁾、稲垣 俊明²⁾、橋詰 良夫³⁾、吉田 眞理⁴⁾

1) 名古屋市厚生院 神経内科 2) 公立陶生病院 リハビリテーション科

3) 福祉村病院 神経病理研究所

4) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

4. 前頭側頭型認知症（bvFTD）の診断基準を満たし、画像上も bvFTD 様の変化を呈したアルツハイマー型認知症の1例

○榊田 道人¹⁾³⁾、陸 雄一¹⁾、森 恵子³⁾、伊藤 益美³⁾、岩崎 靖²⁾³⁾、
吉田 眞理²⁾、渡辺 宏久¹⁾⁴⁾、祖父江 元¹⁾

1) 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所 3) 小山田記念温泉病院 神経内科

4) 脳と心の研究センター

14:05～14:35

神経ベーチェット・画像

座長 東 靖人 先生（医療法人公仁会姫路中央病院 神経内科）

5. 神経ベーチェット病の1剖検例

○西村 広健¹⁾、深井 雄太²⁾、濱崎 周次¹⁾、定平 吉都¹⁾

1) 川崎医科大学 病理学1 2) 同 神経内科

6. 剖検脳 *ex vivo* MR 画像の組織コントラストは温度に強く影響される

○丹羽 篤¹⁾、伊井 裕一郎¹⁾、高瀬 伸一²⁾、前田 正幸³⁾、赤津 裕康⁴⁾、
橋詰 良夫⁴⁾、富本 秀和¹⁾

1) 三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学

2) 三重大学医学部附属病院 中央放射線部 3) 同 放射線診断科

4) 福祉村病院

- Coffee Brake (10 分) -

14:45～15:15

発達障害

座長 伊東 恭子 先生（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学）

7. 新小脳底部正中にのみ左右癒合があり、小脳虫部に低形成をみた、「知的障害・てんかん・脳器質性精神障害」と臨床診断されていた成人例

○堀 映¹⁾²⁾、Almuth Brandis¹⁾

1) Nordstadt Krankenhaus Hannover 2) 福祉村病院

8. 周生期脳障害者にみられた交叉性小脳半球萎縮（diaschisis）の1剖検例

○堀 映¹⁾²⁾、Elisa Scheuerer¹⁾

1) Nordstadt Krankenhaus Hannover 2) 福祉村病院

15:15～15:45

てんかん・腫瘍

座長 新宅 雅幸 先生（大阪赤十字病院 病理診断科）

9. 外側側頭葉表在型腫瘍による症候性てんかんの1手術例

○宮田 元¹⁾、小田 晋輔²⁾、柴田 敬³⁾、小林 勝弘³⁾、近藤 聡彦⁴⁾、
伏見 聡一郎²⁾

1) 秋田県立脳血管研究センター 脳神経病理学研究部

2) 岡山大学 病理学（第一免疫） 3) 同 小児神経科学 4) 同 脳神経外科学

10. ギラン・バレー症候群様症状にて発症した成人T細胞性白血病の1剖検例

○伊藤 朝子¹⁾、別宮 豪一¹⁾、隅 寿恵¹⁾、中 隆²⁾、衛藤 昌樹²⁾、望月 秀樹¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 東大阪市立総合病院 神経内科

- Coffee Brake (10 分) -

15:55～16:25

MELAS

座長 隅 寿恵先生（大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学）

11. 臨床的に神経症状の明らかではなかった MELAS における神経病理所見

○氏平 伸子¹⁾ 佐竹 立成¹⁾、常世田 智明²⁾、吉田 眞理³⁾

1) 名古屋掖済会病院 病理診断科

2) 同 腎臓内科

3) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

12. 腎不全で発症した mtDNA G13513A 変異を有するミトコンドリア脳筋症の 1 剖検例

○倉重 毅志¹⁾²⁾、元田 敦子¹⁾³⁾、杉浦 智仁¹⁾、中村 毅¹⁾、山脇 健盛¹⁾⁴⁾、
有広 光司²⁾、松本 昌泰¹⁾

1) 広島大学 脳神経内科 2) 同 病理診断科

3) 東広島医療センター 神経内科 4) 広島市民病院 神経内科

16:25～16:55 CAA・血管炎

座長 西村 広健 先生（川崎医科大学 病理学 1）

13. Transthyretin 陽性の毛細血管型脳アミロイドアンギオパチーを認めた家族性
認知症の 1 剖検例

○伊藤 宏樹¹⁾、櫻井 信夫¹⁾、辰己 新水²⁾、赤木 明生²⁾、三室 マヤ²⁾、
岩崎 靖²⁾、吉田 眞理²⁾

1) 一宮市立市民病院 神経内科 2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

14. 急性発症の痙性対麻痺を呈し、画像上頸髄病変を認めた ANCA 関連血管炎
の 1 剖検例

○宇佐美 恵子¹⁾、山本 真理¹⁾、池田 昇平¹⁾、富田 稔¹⁾、服部 直樹¹⁾、
成田 道彦²⁾、辰己 新水³⁾、三室 マヤ³⁾、岩崎 靖³⁾、吉田 眞理³⁾

1) 豊田厚生病院 神経内科 2) 同 病理部

3) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

17:05～18:15 特別講演

共催：エーザイ株式会社

座長 吉田 眞理（愛知医科大学 加齢医科学研究所）

「ALS における遺伝子変異と蛋白異常蓄積の神経病理」

和歌山県立医科大学 神経内科学教室 教授

伊東 秀文 先生

18:30～20:00 全体懇親会

レストラン オレンジ

（愛知医科大学本館 1 階）

第2日目 : 2013年11月17日(日)

<標本展示>	8:30 ~ 15:30	(演題 15~26)
<一般演題 2>	10:00 ~ 11:00	(演題 15~18)
<世話人会>	11:10 ~ 11:50	
<ランチョンセミナー2>	12:00 ~ 13:00	
<一般演題 3>	13:10 ~ 15:20	(演題 19~26)

一般演題 2 (口演)

10:00~10:30

NIID・腫瘍

座長 安倍 雅人先生(藤田保健衛生大学医療科学部 臨床検査学科 病理学)

15. Neuronal intranuclear inclusion disease - 皮膚生検による診断について

○曾根 淳¹⁾、北川 尚之²⁾、菅原 恵梨子³⁾、違口 正明⁴⁾、岩崎 靖⁵⁾、
吉田 眞理⁵⁾、田中 章景¹⁾⁶⁾、祖父江 元¹⁾

1) 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 厚生中央病院 神経内科

3) 国立病院機構横浜医療センター 神経内科

4) 札幌山の上病院 神経内科 5) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

6) 横浜市立大学 神経内科学・脳卒中医学

16. 円蓋部に発生した Neurenteric cyst の1例

○山田 勢至¹⁾、稲垣 宏¹⁾、谷川 元紀²⁾、坂田 知宏²⁾

1) 名古屋市立大学 臨床病態病理学 2) 同 脳神経外科

10:30~11:00

FTDP-17・TDP

座長 加藤 信介 先生(鳥取大学医学部 脳病態医科学分野)

17. タウ P301L 変異が確認された、FTDP-17 の1例

○鈴木 寿臣¹⁾、女屋 光基¹⁾、野島 照雄¹⁾、富永 格¹⁾、織田 辰郎²⁾、
三村 將³⁾、小林 知則⁴⁾、長谷川 成人⁵⁾、秋山 治彦⁵⁾

1) 国立病院機構下総精神医療センター 精神科 2) 高洲公園心療医院

3) 慶応義塾大学 精神神経科 4) 福岡大学 神経内科

5) 東京都医学総合研究所

18. 高齢発症の TDP-43 関連前頭側頭葉変性症の 1 例

○陸 雄一¹⁾、長田 芳幸²⁾、棚橋 千里³⁾、辰己 新水⁴⁾、三室 マヤ⁴⁾、
岩崎 靖⁴⁾、渡辺 宏久¹⁾、祖父江 元¹⁾、吉田 眞理⁴⁾

1) 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 南生協病院 呼吸器内科 3) 同 病理部

4) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

11:10～11:50

世話人会

12:00～13:00 ランチョンセミナー2

座長 橋詰 良夫 先生（さわらび会福祉村病院 神経病理研究所）

「上衣と脈絡叢の非腫瘍性病変の病理」

大阪赤十字病院 病理診断科 部長

新宅 雅幸 先生

一般演題 3（口演）

13:10～13:40

TDP・ALS

座長 伊東 秀文 先生（和歌山県立医科大学 神経内科）

19. 下位運動ニューロン・一次感覚ニューロンを病変の首座とし、TDP-43 蓄積を伴う 78 歳男性例

○初田 裕幸¹⁾²⁾、高尾 昌樹¹⁾、森本 悟¹⁾³⁾、小宮 正³⁾、大矢 寧⁴⁾、
齊藤 祐子⁵⁾、樋口 雄二郎⁶⁾、長谷川 成人⁷⁾、新井 富生²⁾、村山 繁雄¹⁾³⁾

1) 東京都健康長寿医療センター 神経病理 2) 同 病理診断科

3) 同 神経内科 4) 国立精神神経医療研究センター 神経内科

5) 同 検査科 6) 鹿児島大学 神経内科 7) 東京都医学総合研究所

20. 高齢発症の認知症で FTLD-TDP43 の病理所見を示した 1 剖検例

○橋詰 良夫¹⁾、豊田 哲也¹⁾、谷 さゆり¹⁾、斉藤 友紀子¹⁾、赤津 裕康¹⁾、
堀 映¹⁾、吉田 眞理²⁾

1) 福祉村病院 神経病理研究所

2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

13:40～14:10

CBD

座長 吉田 眞理（愛知医科大学 加齢医科学研究所）

21. 非流暢性失語が前景に立ち運動症状の左右差に乏しい大脳皮質基底核変性症の1剖検例

○金田 大太¹⁾、高橋 牧郎¹⁾、新宅 雅幸²⁾

1) 大阪赤十字病院 神経内科 2) 同病理診断科

22. L-Dopa 投与により顕著なジスキネジアがみられた CBD の死亡時 80 歳男性剖検例

○佐藤 亮太¹⁾、尾本 雅俊¹⁾、小笠原 淳一¹⁾、若宮 富造²⁾、佐々木 健介²⁾、鈴木 諭²⁾、森松 光紀³⁾、岩城 徹²⁾、神田 隆¹⁾

1) 山口大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 九州大学大学院医学研究院 神経病理学

3) 徳山医師会病院 神経内科

- Coffee Brake (10 分) -

14:20～14:50

PD・ALS

座長 山田 正仁 先生（金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科学））

23. パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症が併発した1例

○和泉 唯信¹⁾、隅蔵 大幸²⁾、藤田 浩司¹⁾、宮崎 由道¹⁾、島谷 佳光¹⁾、川村 和之³⁾、西田 善彦⁴⁾、村山 繁雄²⁾、梶 龍兒¹⁾

1) 徳島大学 神経内科 2) 東京都健康長寿医療センター

3) 国立病院機構徳島病院 神経内科 4) 伊月病院 神経内科

24. 著明な起立性低血圧で発症し認知症とパーキンソニズムが進行した症例

○野倉 一也¹⁾、加子 哲治¹⁾、巨椋 義蔵¹⁾、東 文香¹⁾、溝口 良順²⁾、山本 續子³⁾、岩崎 靖⁴⁾、辰己 新水⁴⁾、三室 マヤ⁴⁾、吉田 眞理⁴⁾

1) 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 神経内科 2) 同 病理

3) 並木病院 4) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

14:50～15:20

筋疾患・末梢神経

座長 神田 隆 先生（山口大学大学院医学系研究科 神経内科学）

25. GNE 遺伝子に新規変異を有し、肉芽腫を認めた縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチーの 1 例

○中村 桂子¹⁾、浜口 毅¹⁾、能登 大介¹⁾、小野 賢二郎¹⁾、荒井 邦明²⁾、
中沼 安二³⁾、角田 優子³⁾、林 由起子⁴⁾、西野 一三⁴⁾、山田 正仁¹⁾

1) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科学）

2) 金沢大学 消化器内科 3) 同 病理部

4) 国立精神・神経医療研究センター

26. 幼少期からの難聴・白内障と著明な自律神経症状を呈し、新規 *DNMT1* 遺伝子変異をみとめた hereditary sensory and autonomic neuropathy (HSAN) の 50 歳男性腓腹神経・短腓骨筋生検例

○西原 秀昭、尾本 雅俊、小笠原 淳一、川井 元晴、神田 隆
山口大学大学院医学系研究科 神経内科学

15:20～15:25

閉会挨拶

愛知医科大学 加齢医科学研究所 吉田真理